

**第五次南風原町総合計画（後期計画）策定に
係るアンケート調査
調査報告書 概要版**

令和3年8月

南風原町

I. 調査概要

1 調査の目的

①一般アンケート調査

南風原町では、まちづくりの指針である「第5次南風原町総合計画前期基本計画」が令和3年度をもって終了することから、前期基本計画をベースとし、社会情勢の変化などを踏まえた見直しとなる「第5次南風原町総合計画後期基本計画」の策定に向けて、町民の意見を把握することを目的に実施しました。対象は、18歳以上の町民の約2,800名を無作為に抽出し実施しました。

②小学生アンケート調査

「第5次南風原町総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、まちづくりに関する考えや、意見等を把握することを目的に実施しました。対象者は、南風原町立小学校（南風原、北丘、津嘉山、翔南）の5年・6年生の方を対象に実施しました。

③中学生アンケート調査

「第5次南風原町総合計画後期基本計画」を策定するにあたり、まちづくりに関する考えや、意見等を把握することを目的に実施しました。対象者は、南風原町立中学校（南風原、南星）の1年・2年・3年生の方を対象に実施しました。

2 調査の対象

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| ①一般アンケート調査 | 町内在住の18歳以上の方2,800人 |
| ②小学生アンケート調査 | 南風原町立小学校（南風原、北丘、津嘉山、翔南）の5・6年生992人 |
| ③中学生アンケート調査 | 南風原町立中学校（南風原、南星）の1・2・3年生1,400人 |

3 調査の期間

○令和3年5月26日～令和3年7月27日

4 配布・回収結果

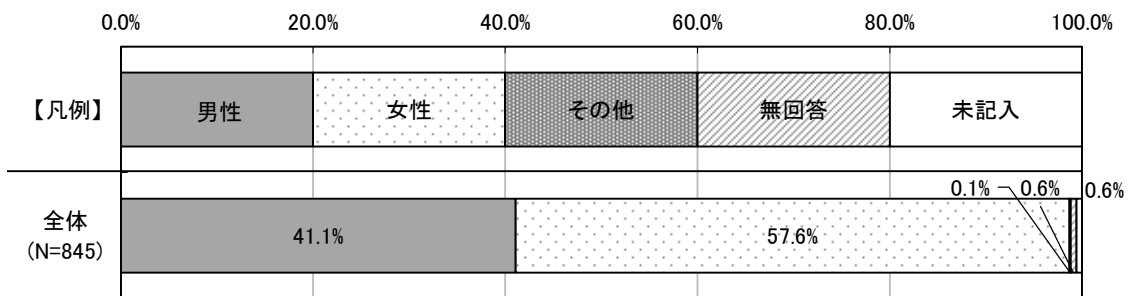
対象者	配布数	回収数	回収率
①一般アンケート調査	2,800票	845票	30.2%
②小学生アンケート調査	992票	945票	95.3%
③中学生アンケート調査	1,400票	1,351票	96.5%

II. 調査結果の概要（抜粋）

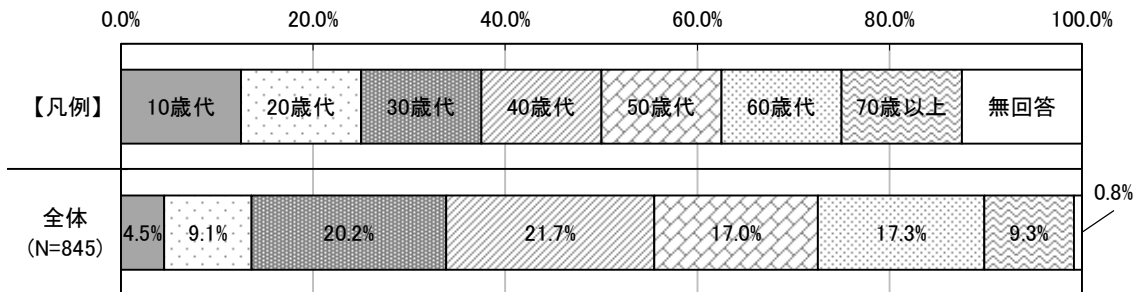
1. 回答者について

- 回答者の性別は、「女性」が 57.6%、「男性」の 41.1%となっています。
- 回答者の年齢別は、「40 歳代」が 21.7%で最も多く、次いで「30 歳代」の 20.2%、「60 歳代以上」の 17.3%などとなっています。

○一般：町民の性別



○一般：町民の年齢別

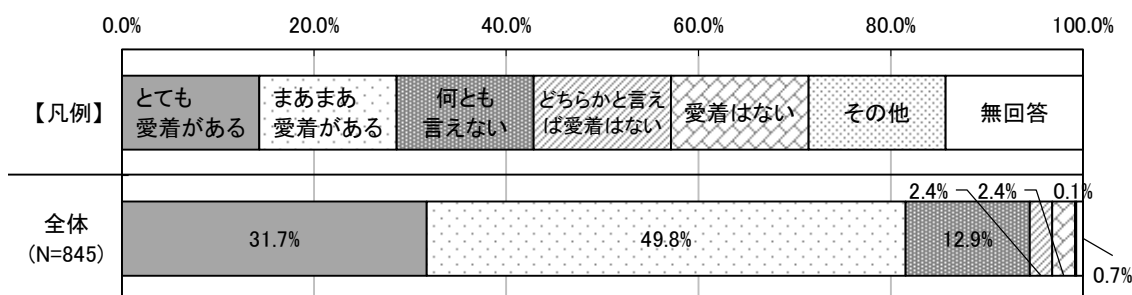


2. 町への愛着度

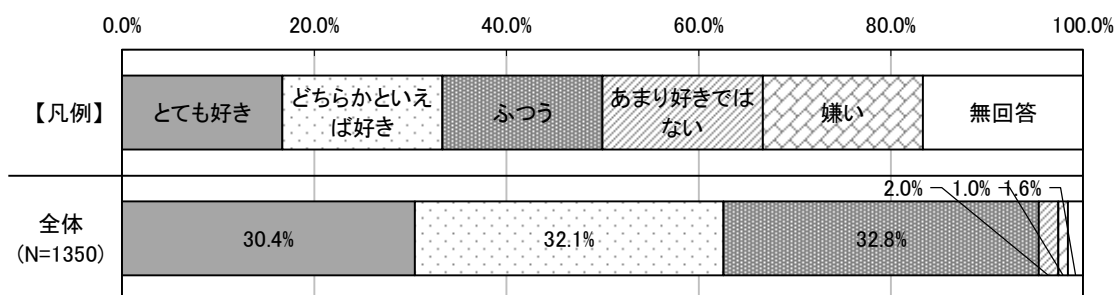
⇒町民の8割以上が町に愛着を感じている

- 町民の町に対する愛着度は、今回調査において、「まあまあ愛着がある」の意見が49.8%で最も多く、次いで「とても愛着がある」の31.7%、「何とも言えない」の12.9%などとなっており、『愛着がある（とても愛着がある+まあまあ愛着があるの合計）』と回答された方が81.5%となっています。
- 中学生の町に対する愛着度は、「ふつう」の意見が32.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば好き」の32.1%、「とても好き」が30.4%などとなっており、『愛着がある（とても好き+どちらかといえば好き）』と回答された方が62.5%となっています。
- 小学生の町に対する愛着度は、「とても好き」が49.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば好き」の32.1%、「ふつう」の22.5%などとなっており、『愛着がある（とても好き+どちらかといえば好き）』と回答された方が72.1%となっています。

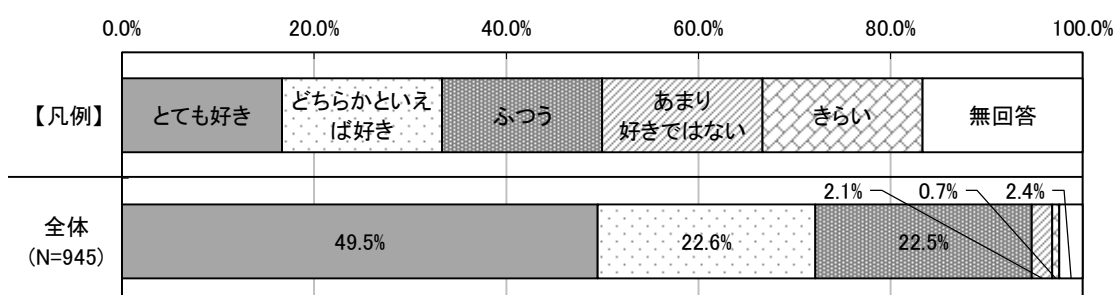
○一般：町民の町への愛着度



○中学生の町への愛着度



○小学生の町への愛着度

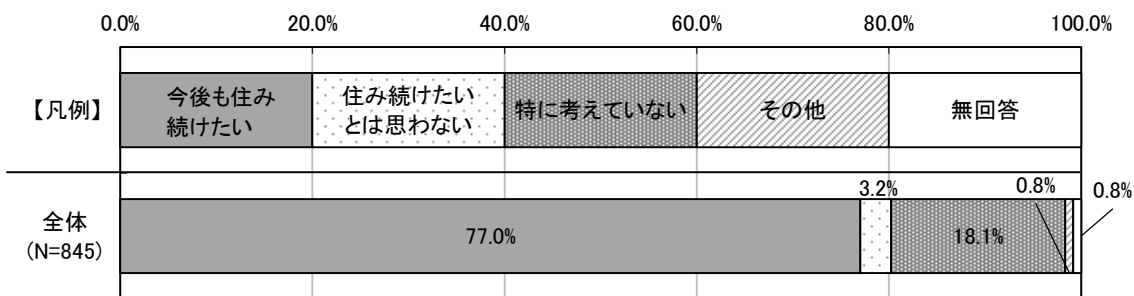


3. 今後の定住意向

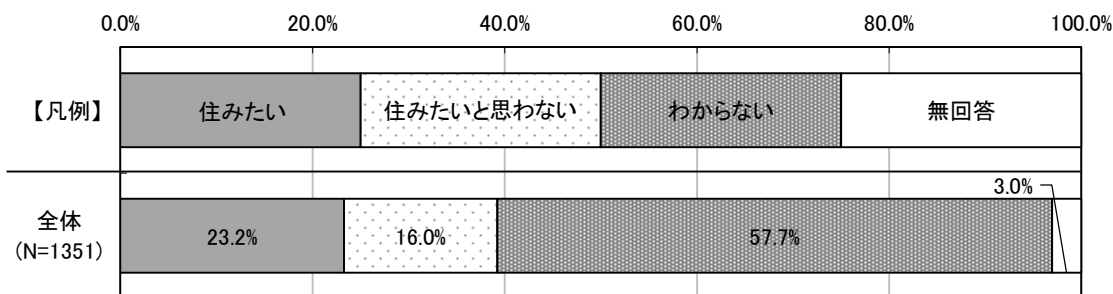
⇒町民の7割以上が定住意向を示し高い。一方、小・中学生は半数以上が決めかねている

- 町民の定住意向は、「今後も住み続けたい」が77.0%で最も多く、次いで「特に考えていない」の18.1%などとなっています。
- 中学生の定住意向は、「わからない」の意見が57.7%で最も多く、次いで「住みたい」が23.2%などとなっています。
- 小学生の定住意向は、「わからない」の意見が50.6%で最も多く、次いで「住みたい」が29.8%などとなっています。

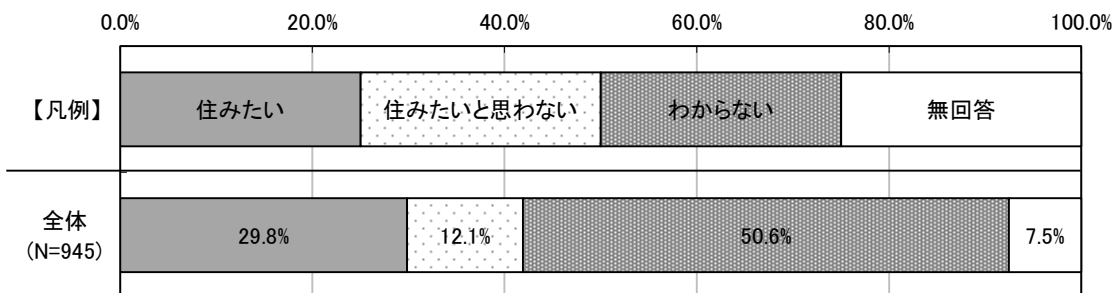
○一般:町民の定住意向



○中学生の定住意向



○小学生の定住意向

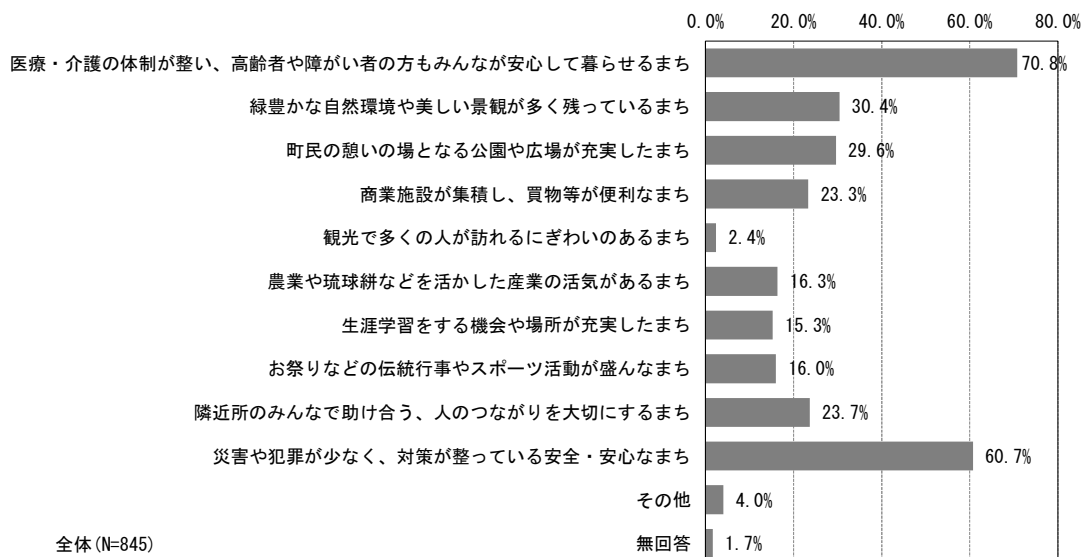


4. 今後のまちづくりの希望

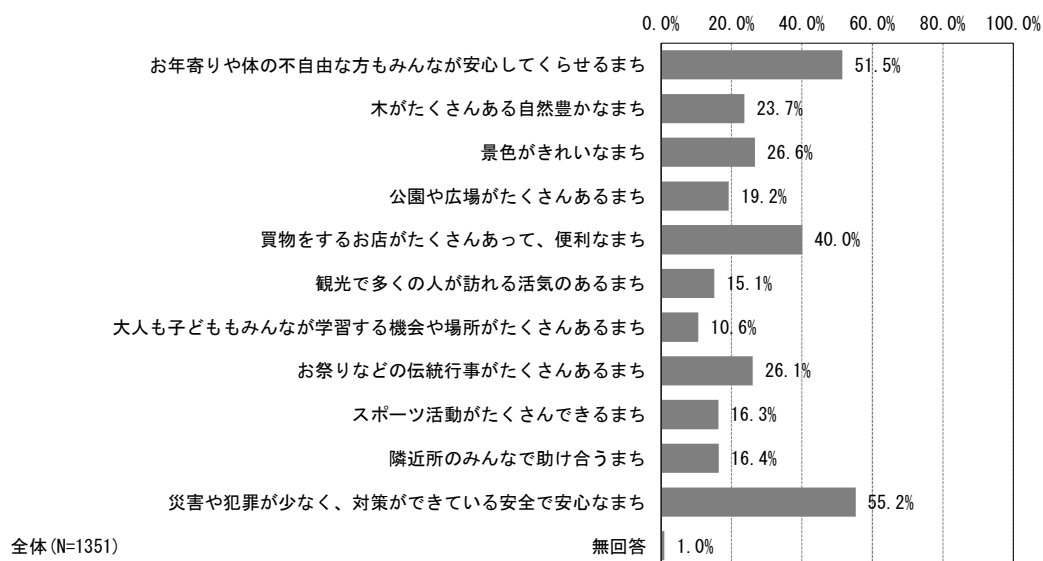
⇒「医療・介護の体制が整い、高齢者や障がい者の方もみんなが安心して暮らせるまちづくり」、「災害や犯罪が少なく、対策が整っている安全で安心なまちづくり」への希望が高い

- 町民の今後の南風原町のまちづくりについて、どのようになって欲しいかでは、「医療・介護の体制が整い、高齢者や障がい者の方もみんなが安心して暮らせるまち」の意見が 70.8%で最も多く、次いで「災害や犯罪が少なく、対策が整っている安全・安心なまち」の 60.7%、「緑豊かな自然環境や美しい景観が多く残っているまち」の 30.4%などとなっています。
- 中学生は、「災害や犯罪が少なく、対策ができて安全で安心なまち」の意見が 55.2%で最も多く、次いで「お年寄りや体の不自由な方もみんなが安心して暮らせるまち」が 51.5%、「買物をするお店がたくさんあって、便利なまち」が 40.0%などとなっています。
- 小学生は、「災害や犯罪が少なく、対策ができて安全で安心なまち」の意見が 67.0%で最も多く、次いで「お年寄りや体の不自由な方もみんな安心して暮らせるまち」が 57.6%、「木がたくさんある自然豊かなまち」が 27.4%などとなっています。

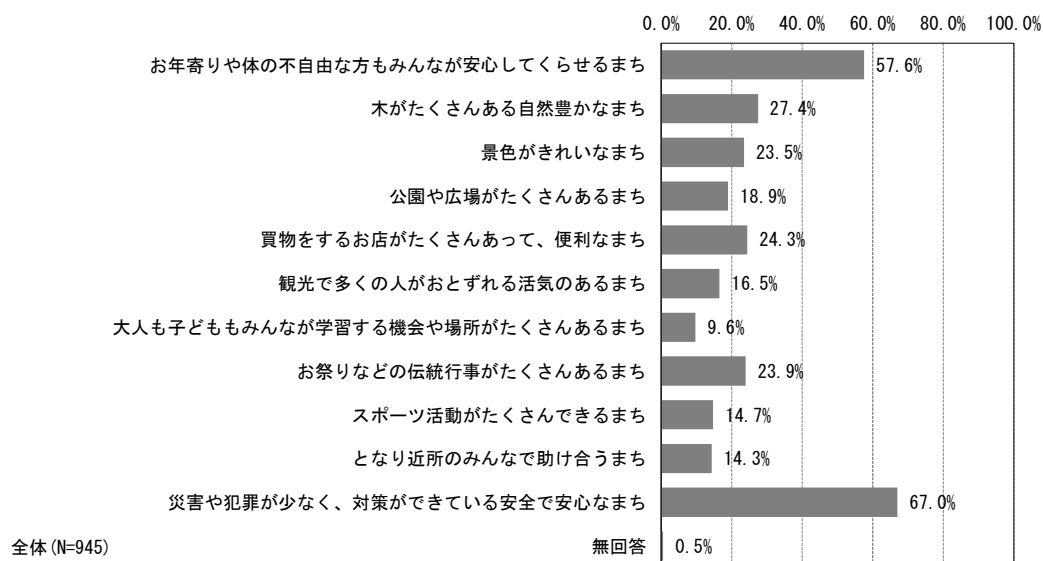
○一般：町民の将来まちづくり分野の意向



○中学生の将来まちづくり分野の意向



○小学生の将来まちづくり分野の意向



5. 町の施策に対する満足度と重要度

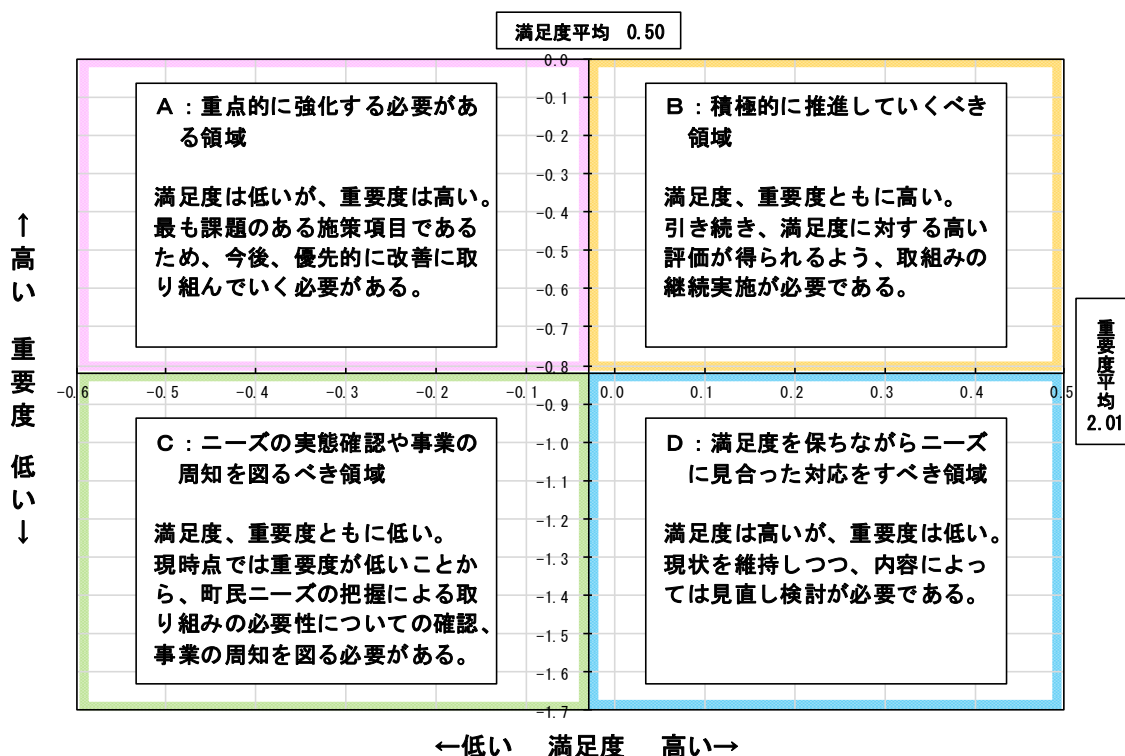
■満足度と重要度のポートフォリオ分析の手法

「第5次南風原町総合計画前期基本計画」における51施策について、各施策の満足度（現状）を4段階、重要度（今後）を5段階で得点をつけ、合計点を回答数（無回答を除く）で除した値を指数としました。その結果、満足度の平均は0.50、重要度の平均は2.01となりました。この指数をもとに、施策項目ごとに満足度を横軸、重要度を縦軸にとった散布図で表現し、A～Dの4つの領域に分類を行いました。

満足度と重要度の点数表

①満足度		②重要度	
満足	3点	とても重要	3点
やや満足	2点	重要	2点
やや不満	-2点	ふつう	1点
不満	-3点	あまり重要でない	-2点
		重要でない	-3点

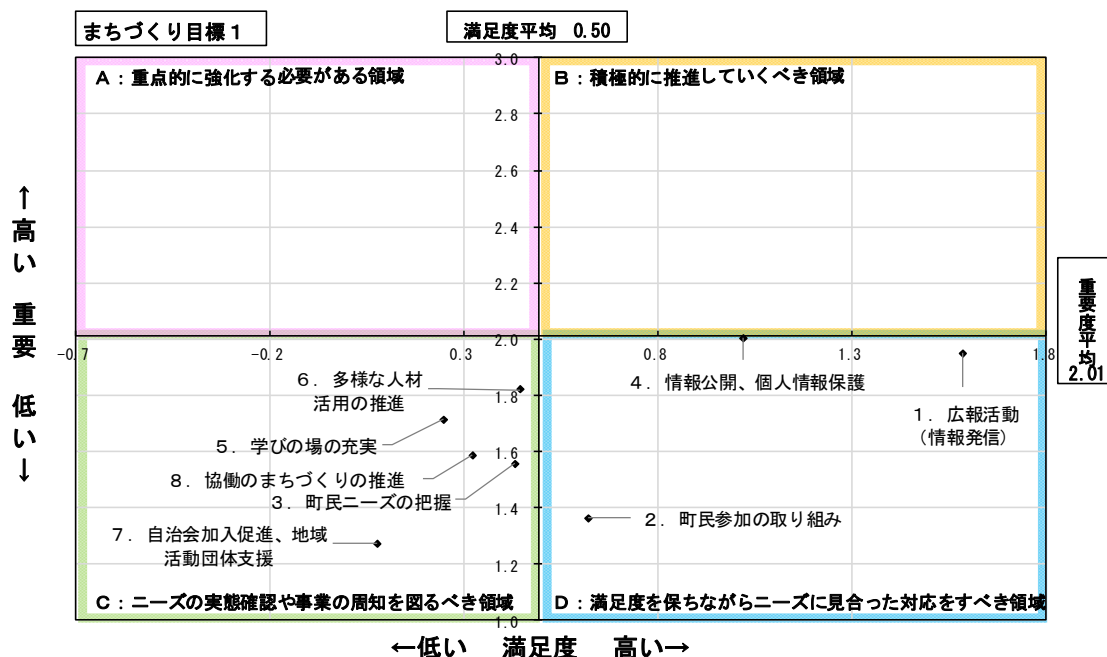
各領域の概要



■ポートフォリオ分析結果

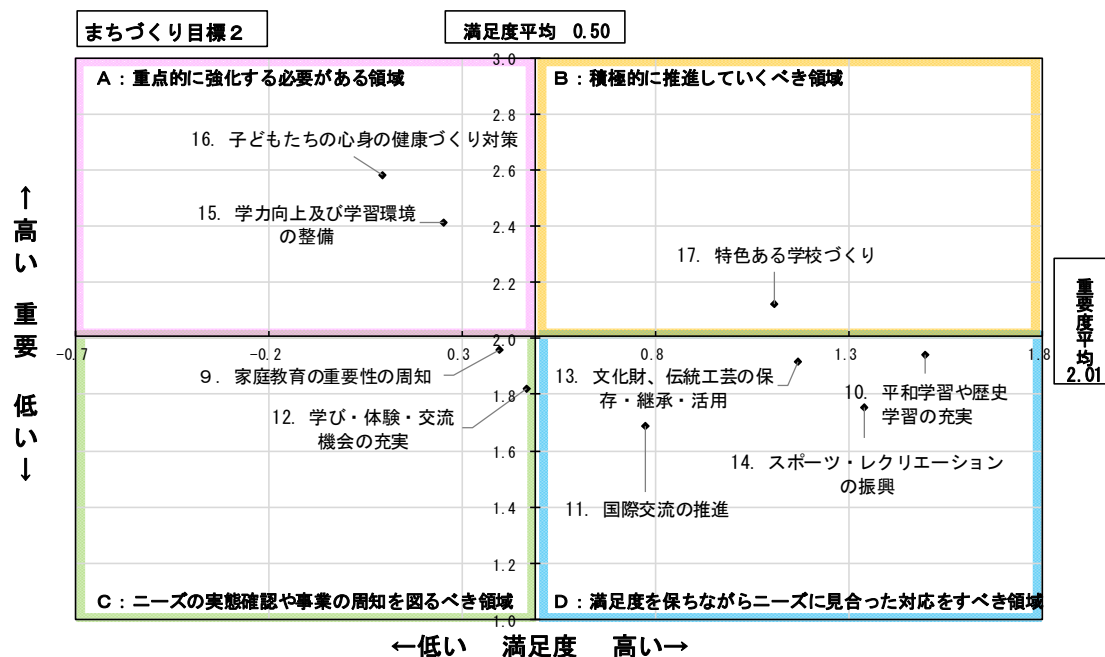
まちづくり目標 1. みんなで考え、みんなで作るわくわくするまち

- 領域 C は、満足度、重要度がともに低い施策で、「行政懇談会や議会報告会、まちメールや町政提案箱による町民ニーズの把握」、「町民がまちづくりに関心をもつような講演会、出前講座、学習会の実施等、学びの場の充実」、「豊富な経験や知識を有する多様な人材の活用の推進」、「自治会加入促進や地域活動団体への支援」、「協働のまちづくりを推進するための取り組み」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取り組みの必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D は、満足度が高く、重要度が低い施策で、「広報はえばる、議会だより、ホームページ、SNS 等による広報活動（情報発信）について」、「各種委員会の公募やパブリックコメントなどを活用した町民参加の取り組み」、「情報公開や個人情報保護に関する取組み」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。



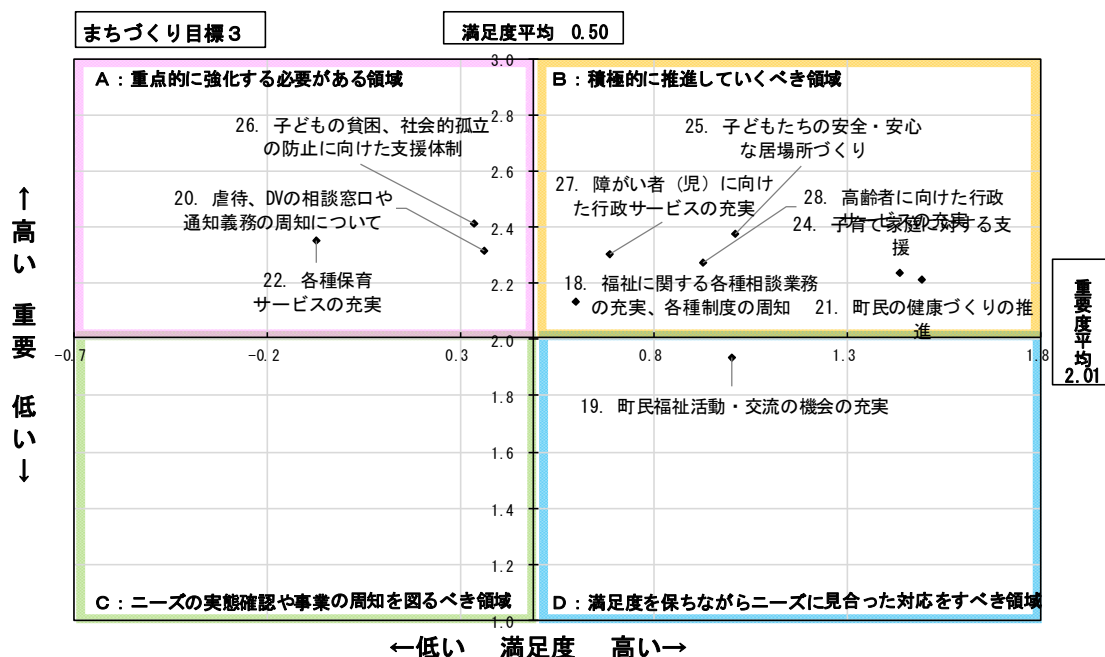
まちづくり目標 2. きらきらと輝く人が育つまち

- 領域 A は満足度が低く、重要度が高い施策で、「子どもたちの学力向上及び学習環境の整備について」、「子どもたちの心身の健康づくり対策について（食育、いじめ、不登校、体力向上、防犯など）」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B は、満足度も重要度も高い施策で、「地域と育む特色ある学校づくり（学校応援隊はえばる（地域ボランティア含む）との連携や人材活用など）」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取り組みの継続実施が必要です。
- 領域 C は、「基本的な生活習慣や基本的倫理観などを身につける上で重要な役割を担う家庭教育の重要性の周知についての取り組み」、「町民が学び・体験・交流できる機会の充実（各自治体での講座、地域のまつりへの児童生徒の参加等）」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取り組みの必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D は、「南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を拠点とした平和学習や歴史学習の充実について」、「国際交流を促進させる取り組み（児童生徒の国際派遣事業など）」、「文化財や伝統工芸の保全、継承、活用に関する取り組み」、「黄金森公園陸上競技場を活用したスポーツ・レクリエーションの振興（各種大会の実施やプロスポーツチームのキャンプ誘致を通じた技術力・意識の向上等）」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。



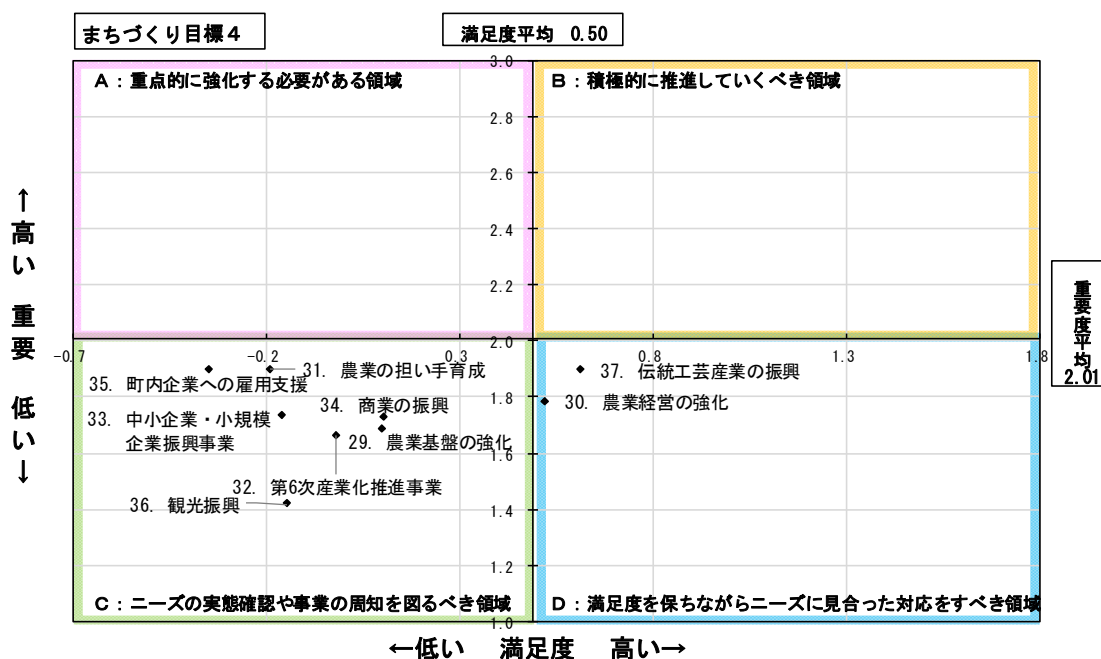
まちづくり目標3. ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち

- 領域 A は、「高齢者、障がい者（児）、児童等への虐待及び DV の相談窓口や通知義務の周知についての取組み」、「待機児童の解消や一時保育や預かり保育などの各種保育サービスの充実について」、「子どもの貧困、社会的孤立の防止に向けた支援体制（就学援助制度等）について」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B は、「福祉に関する各種相談業務の充実及び各種制度の周知に関する取組みについて」、「町民の健康づくりの推進に関する取組み（特定健診、保健指導、栄養指導、感染症対策など）」、「子育て家庭に対する支援（乳児健診、子育て支援センター、ふれあい子育てサロンなど）」、「子どもたちの安全・安心な居場所づくり（児童館、学童クラブなど）」、「障がい者（児）に向けた行政サービスの充実について（相談体制の充実、生きがいづくりなど）」、「高齢者に向けた行政サービスの充実について（介護予防、居場所づくりや高齢者団体への支援など）」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組みの継続実施が必要です。
- 領域 D は、「福祉協議会等と連携した町民福祉活動・交流（子育てサロン・高齢者サロン等）の機会の充実」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。



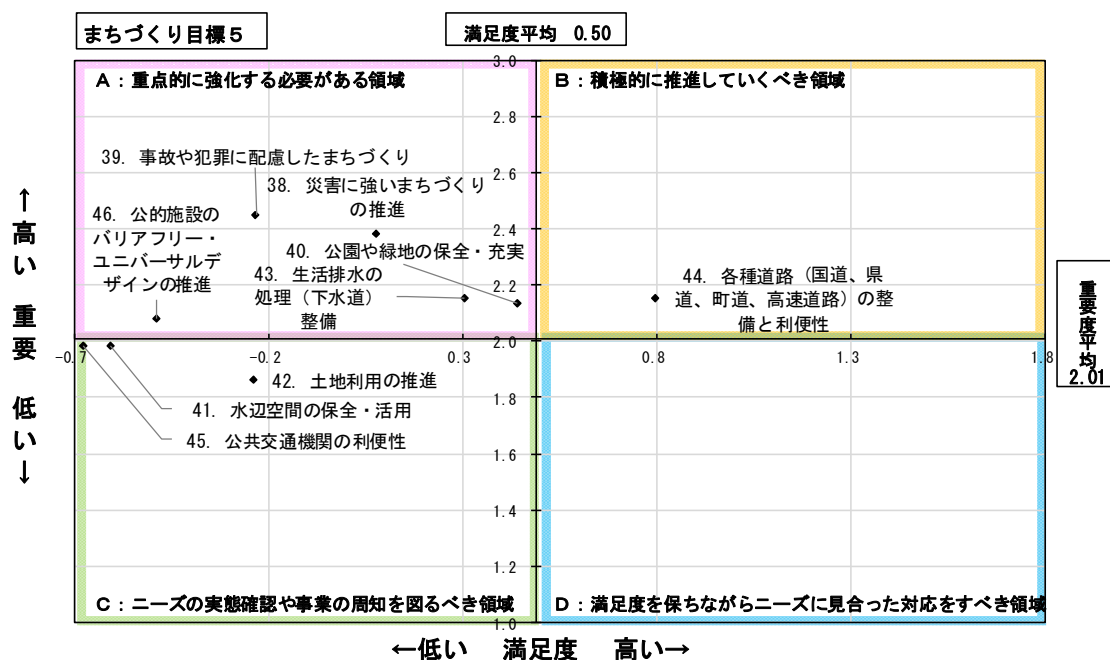
まちづくり目標 4. 工夫と連携で産業が躍動するまち

- 領域 C は、「農業基盤の強化の取組み（農地保全、農道改修、土壌改良、耕作放棄地解消など）」、「農業の担い手育成の取組み（若手への農業研修、農業団体の活動支援、就農情報の提供など）」、「農業を基軸とした第 6 次産業化推進事業についての取組み」、「中小企業・小規模企業振興事業に関する取組み」、「商業の振興について（既存産業への支援の充実や企業進出の環境整備など）」、「町内企業への雇用支援に関する取組みについて」、「観光振興に関する取組みについて（観光に係る人材の育成、既存の観光資源の活用、新たな観光資源の整備、観光情報発信など）」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取り組みの必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。
- 領域 D は、「農業経営を強化する取組み（販路拡大、農商工連携、南風原産品のブランド化、優良品種の導入普及など）」、「伝統工芸産業の振興について（琉球絣や南風原花織の販路拡大、生産技術の向上、継承など）」が該当しています。今後も満足度を保ちながらニーズに見合った対応が必要です。



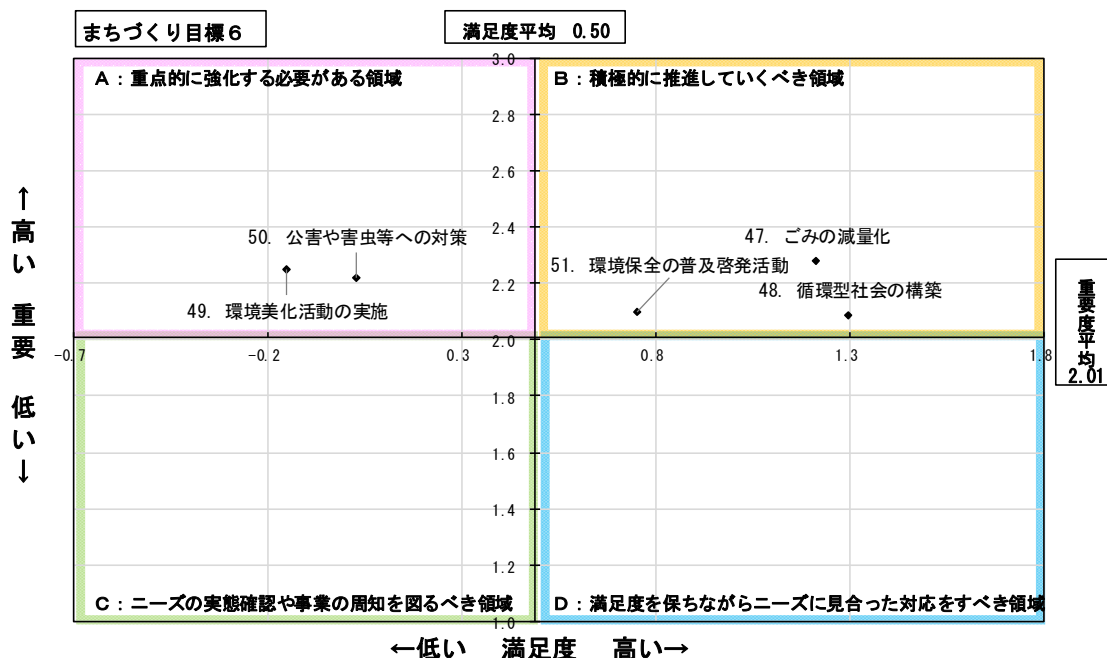
まちづくり目標 5. みどりとまちが調和した安全・安心のまち

- 領域 A は、「災害に強いまちづくりの推進（防災訓練の実施、減災のまちづくりへの取り組み、防災に関する各種情報の発信など）」、「事故や犯罪に配慮したまちづくり（防犯灯や交通安全施設の設置など）」、「公園や緑地の保全・充実に関する取組み（公園・広場の整備、緑道整備など）」、「生活排水の処理（下水道）整備について」、「歩道の拡幅や公的施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B は、「各種道路（国道、県道、町道、高速道路）の整備と利便性について」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取り組みの継続実施が必要です。
- 領域 C は、「水辺空間の保全・活用の取組み（河川の水質改善、景観づくりなど）」、「町の特性を活かした土地利用の促進について」、「町内における公共交通機関（バスなど）の利便性について」が該当しています。現時点では重要度が低いことから、町民ニーズの把握による取り組みの必要性について確認するとともに、事業の周知を図る必要があります。



まちづくり目標 6. 環境と共生する美しく住みよいまち

- 領域 A は、「環境美化活動の実施について（不法投棄防止など）」、「公害や害虫等への対策（水質汚濁、悪臭、野犬、ハブなど）」が該当しています。これらの施策は、今後重点的に強化する必要があります。
- 領域 B は、「ごみの減量化の取組み（分別、リサイクル）」、「循環型社会の構築への取組み（例えばリサイクルループ事業（食品廃棄物の循環、養豚用飼料化）、草木堆肥化など）」、「環境保全の普及啓発活動について（学校での環境学習、情報発信など）」が該当しています。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組みの継続実施が必要です。

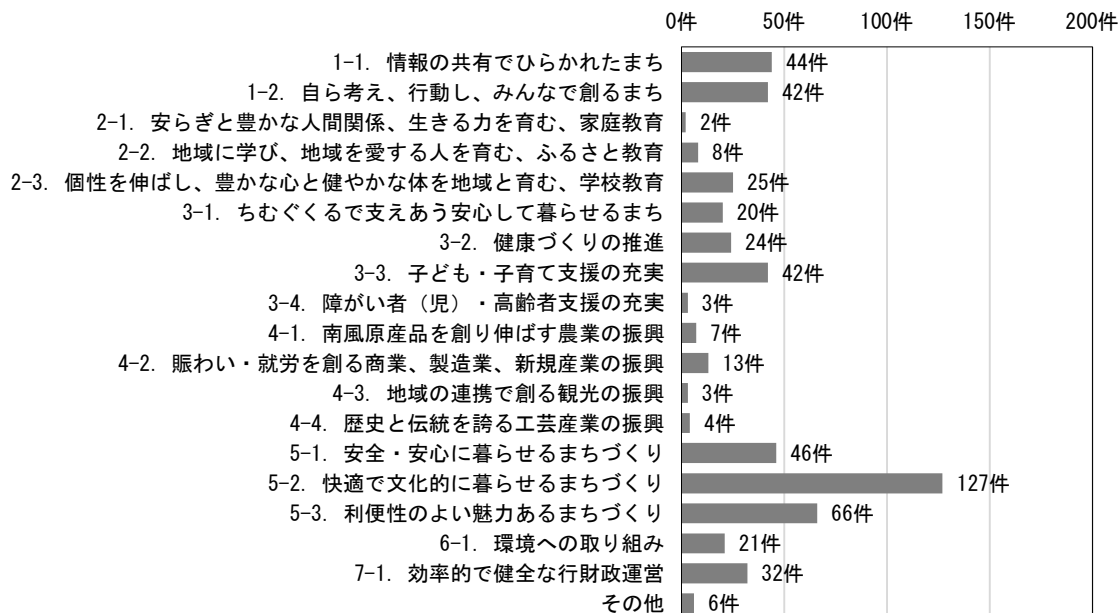


6. 自由記述意見の整理

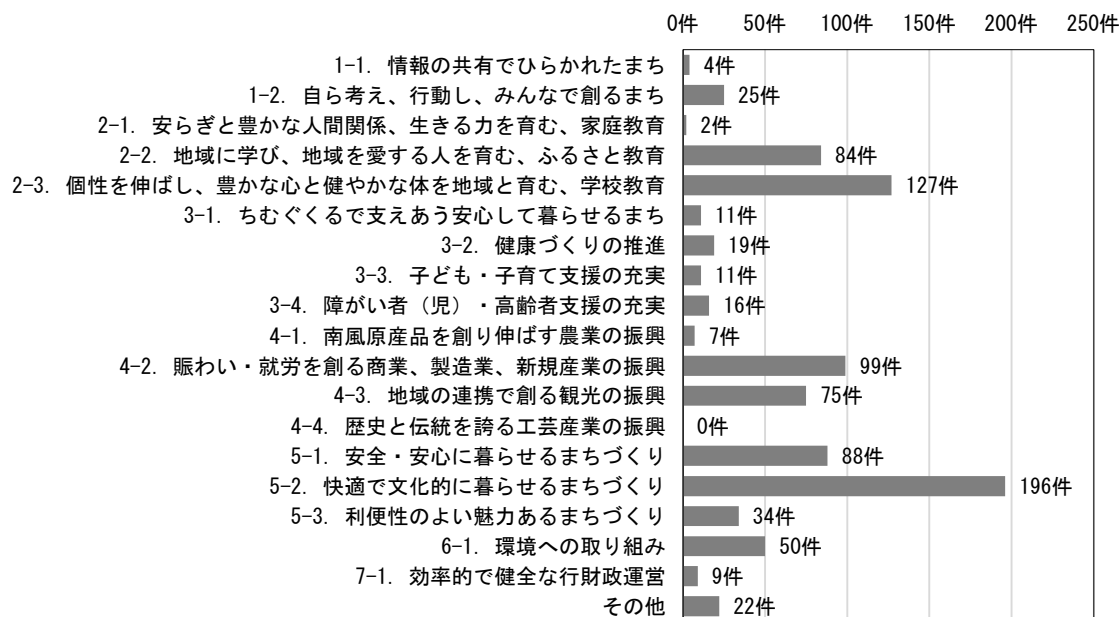
⇒**町民の日常生活に関連する、まちづくり目標5「みどりとまちが調和した安全・安心のまち」についての自由意見が多く挙げられた。**

- 自由記述意見は、「5-2. 快適で文化的に暮らせるまちづくり」についての意見が127件と最も多く、次いで「5-3. 利便性のよい魅力あるまちづくり」の66件、「5-1. 安全・安心に暮らせるまちづくり」の46件などとなっています。
- 小学生は、「5-2. 快適で文化的に暮らせるまちづくり」についての意見が196件と最も多く、次いで「2-3. 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育」の127件、「4-2. 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興」の99件などとなっています。
- 中学生は、「5-2. 快適で文化的に暮らせるまちづくり」についての意見が210件と最も多く、次いで「2-2. 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育」の166件、「4-2. 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興」の156件などとなっています。

○一般アンケート自由記述意見

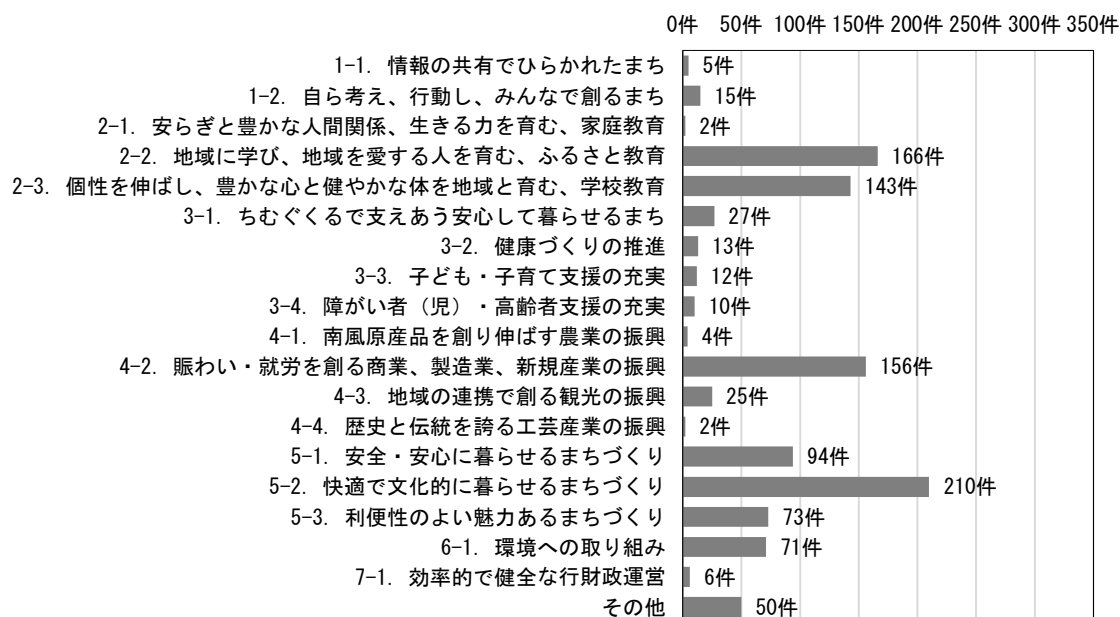


○小学生アンケート自由記述意見



※「特になし」と回答した方は73人でした。（意見879件／回答者数774人）

○中学生アンケート自由記述意見



※「特になし」と回答した方は213人でした。（意見1,084件／回答者数1,066人）